

## 2004年3月の東北地方の天候

### 【3月の特徴】

- ・上旬の低温、中・下旬の高温
- ・東北南部の記録的な少雨

#### (1)概況

上旬は低気圧が短い周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。大陸から強い寒気が入って気温が低く、東北太平洋側の北部は記録的な大雪となる日もあった。上旬末以降は、前線や気圧の谷が数日の周期で通過したが、高気圧に覆われて晴れる日が多く、また、暖かい南風が吹き込み、高温となった。

なお、天気の大きな崩れはなく、東北南部では記録的な少雨となった。

月平均気温は高い。月降水量は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。月間日照時間は平年並。

#### (2)天候経過

上旬： 低気圧が短い周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。このため、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側でも雪の日があった。特に、6日は低気圧が発達しながら東北地方を通過したため、降雪の深さの合計が宮古41cm、盛岡38cmと東北太平洋側の北部は記録的な大雪となった。しかし、期末には高気圧に覆われて晴れる所が多く、沿海州の低気圧に向かって暖かい南風が吹き込んだため、各地で気温がかなり高くなかった。

平均気温は低い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は少ない。

中旬： 寒冷前線や気圧の谷が数日の周期で通過した。特に、11日は寒冷前線の通過により、秋田県では雨や融雪による山がけ崩れの被害が発生した。また、各地で黄砂を観測した。17日はサハリン付近の低気圧に向かって暖かい南風が吹き込んだため、各地で気温がかなり高くなり、盛岡、酒田、新庄では3月として日最高気温の極値を更新した。

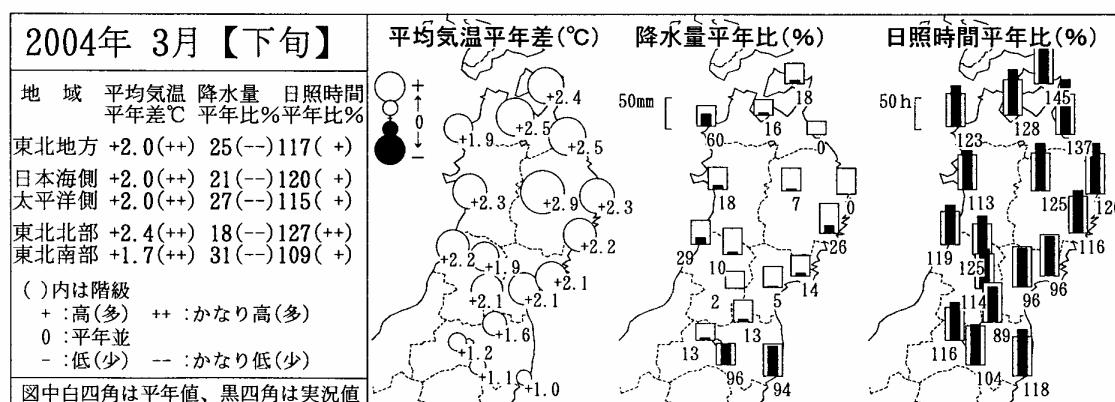
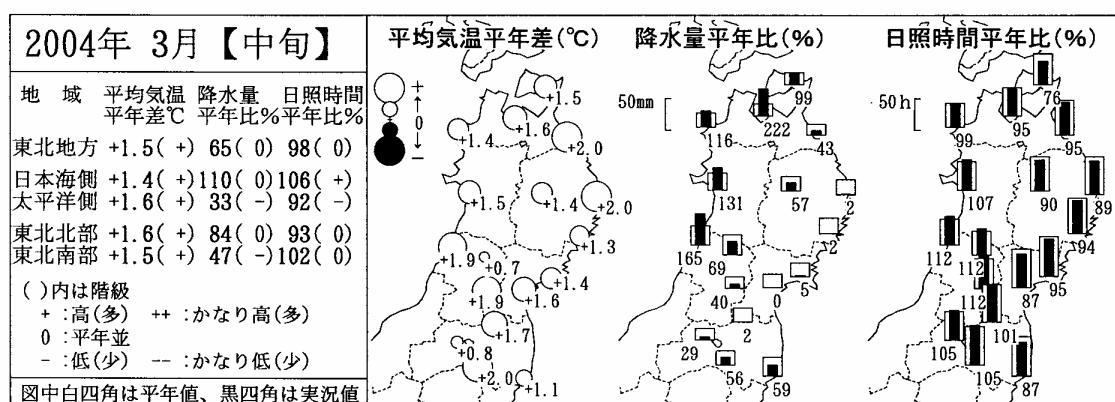
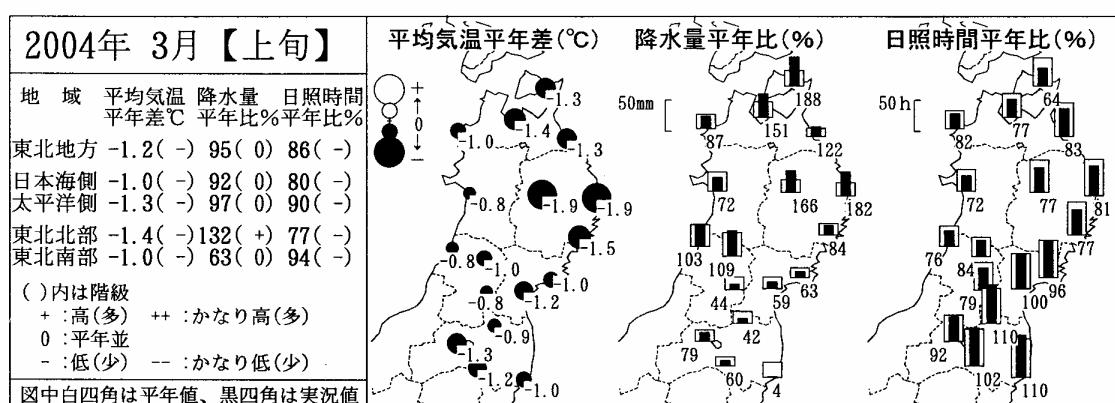
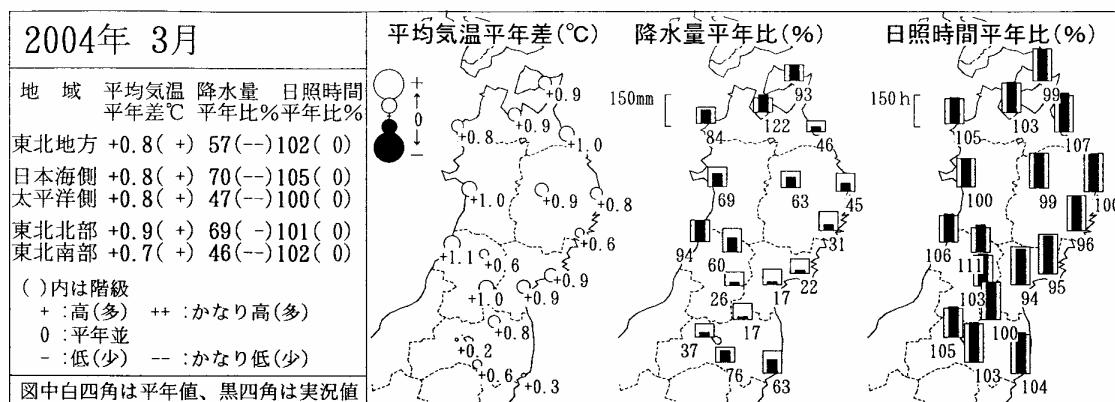
平均気温は高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。

下旬： 期間の前半、東北北部は高気圧に覆われ概ね晴れたが、東北南部は日本の南岸を進んだ低気圧や前線の影響で天気がぐずついた。期間の後半は、低気圧が数日の周期で通過したが、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。また、暖かい南風が吹き込み、各地で気温がかなり高くなかった。

平均気温はかなり高い。降水量はかなり少ない。日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。  
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。  
平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

### (3) 2004年3月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方

東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

#### (4) 月気候表(2004年3月)

地 点	月平均気温(平年差) 階級	月降水量(平年比) mm % 階級	月間日照時間(平年比) h % 階級	月最深積雪(平年値) cm cm 階級	月降雪量(平年値) cm cm 階級
青 森	2.9 (+0.9) +	85.0 (122) +	145.5 (103) 0	44 (84) -	81 (65) 0
深 浦	3.4 (+0.8) +	66.0 (84) 0	126.5 (105) +	19 (27) 0	23 (22) 0
む つ	2.3 (+0.9) +	72.0 (93) 0	153.0 (99) 0	48 (52) 0	--- (---) ---
八 戸	3.3 (+1.0) +	23.5 (46) - *	185.2 (107) 0	30 (17) +	38 (25) +
秋 田	4.2 (+1.0) +	64.0 (69) -	136.3 (100) 0	11 (20) 0	21 (26) 0
盛 岡	2.7 (+0.9) +	50.5 (63) -	164.8 (99) 0	41 (20) + *	80 (35) + *
大 船 渡	4.1 (+0.6) +	28.5 (31) - *	162.5 (96) 0	12 (6) +	20 (9) +
宮 古	3.8 (+0.8) +	39.0 (45) -	182.0 (100) 0	46 (18) + *	60 (27) + *
仙 台	5.4 (+0.9) +	12.5 (17) - *	171.5 (94) -	9 (7) +	7 (12) 0
石 巻	4.6 (+0.9) +	15.5 (22) - *	181.1 (95) -	11 (9) 0	--- (---) ---
山 形	4.1 (+1.0) +	17.0 (26) - *	151.5 (103) 0	12 (27) -	20 (37) -
新 庄	2.6 (+0.6) +	67.5 (60) - *	130.1 (111) +	75 (98) 0	--- (---) ---
酒 田	5.3 (+1.1) +	97.0 (94) 0	133.3 (106) 0	15 (14) 0	32 (16) + *
福 島	5.7 (+0.8) +	13.0 (17) - *	179.2 (100) 0	7 (10) 0	6 (19) -
若 松	3.2 (+0.2) 0	23.5 (37) - *	147.8 (105) 0	16 (28) 0	25 (42) -
白 河	4.2 (+0.6) 0	54.0 (76) -	189.7 (103) 0	6 (10) 0	--- (---) ---
小名浜	6.5 (+0.3) 0	67.0 (63) -	196.2 (104) 0	(2) -	0 (2) -

観測値欄の記号は、×：欠測 )：欠測日を含む - : 現象なし --- : 観測をしていない

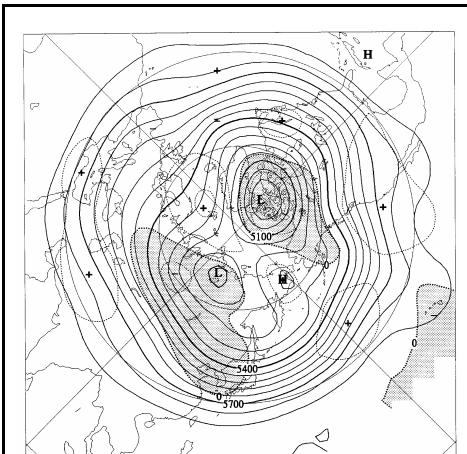
階級は + : 高い(多い) 0 : 平年並 - : 低い(少ない) \* は「かなり」を表す

#### (5) 2004年3月の循環場の特徴

500hPa 高度を見ると、極渦は北米大陸の北とタイミル半島付近にあって負偏差が強く、極東域では日本海にかけて広く負偏差が広がった。一方、スカンジナビア半島付近とベーリング海からアリューシャンの南にかけては正偏差が強く、日本付近も正偏差に覆われた。旬別(図略)では、日本付近は上旬に負偏差となったが、中・下旬は正偏差となった。

偏西風の流れは順調で、低気圧や寒冷前線は数日の周期で通過した。

上旬は低気圧が短い周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となって強い寒気が南下した。このため、低温となり、発達した低気圧の影響で東北太平洋側の北部は記録的大雪となる日もあった。しかし、上旬末以降は寒冷前線や気圧の谷が数日の周期で通過し、北の低気圧に向かって暖かい南風が吹き込んだため、各地で記録的な高温となる日があった。



2004年3月の月平均500hPa高度  
実線は高度(m)、破線は偏差(m)、間隔60m。陰影部は負偏差域。

注) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971~2000年の30年間ににおいて出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

( 6 ) 月統計値の極値・順位の更新

( 月平均気温、月降水量、月間日照時間、月降雪量の 3 位まで。新庄・むつ・石巻・白河の月降雪量は観測していない。)

月降水量 少ない方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量(mm)	これまでの最小(mm)(年)	統計開始年	平年値(mm)
1 位	大船渡	28.5	28.9(1965)	1964	91.8
	山形	17.0	25.5(1905)	1891	66.5
	仙台	12.5	14.0(1976)	1927	73.0
	福島	13.0	13.5(1976)	1890	76.9
2 位	若松	23.5	22.5(1976)	1954	63.9
	白河	54.0	49.5(1998)	1994	71.1
3 位	新庄	67.5	61.5(1991)	1986	112.1

月間日照時間 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	日照時間(h)	これまでの最大(h)(年)	統計開始年	平年値(h)
2 位	新庄	130.1	142.0(1997)	1986	117.2

降雪の深さ月合計 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降雪の深さ月合計(cm)	これまでの最大(cm)(年)	統計開始年	平年値(cm)
3 位	盛岡	80	101(1984)	1953	35

( 7 ) 日最高気温及び降雪の深さ日合計の極値・順位の更新

( 3 位まで。新庄・むつ・石巻・白河の降雪の深さ日合計は観測していない。)

日最高気温 高い方からの極値・順位更新

順位	地点名	気温( )	起日	これまでの最高( )(年/日)	統計開始年
1 位	新庄	19.5	17	19.3(1972/29)	1958
	盛岡	20.9	17	19.9(1942/23)	1924
	酒田	22.6	17	21.0(1999/18)	1937
2 位	大船渡	19.7	29	21.1(1969/27)	1964
	青森	20.0	17	20.1(2002/21)	1886
	秋田	20.9	17	21.0(1905/31)	1886
	山形	23.0	17	23.7(1891/31)	1891
3 位	むつ	17.4	30	18.3(1998/29)	1935
	八戸	20.8	17	21.2(1969/26)	1937

降雪の深さ日合計 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降雪の深さ日合計(cm)	起日	これまでの最大(cm)(年/日)	統計開始年
1 位	盛岡	38	6	34(1971/ 3)	1953
2 位	宮古	41	6	62(2003/ 8)	1953